

創業80周年企業紹介



代表取締役社長 西岡慶子氏

株式会社光機械製作所

創業 ● 昭和21年 5月

代表者 ● 代表取締役社長 西岡慶子

所在地 ● 津市一身田中野 8の1

電話番号 ● 059-227-5511

事業内容 ● 工作機械、レーザー加工機、
切削工具の設計・製造

これまでの歩み

- 1946年 西岡芳光が三重県津市に光工作所を創業し、紡績機の製作に着手。
- 1958年 光機械製作所と社名を改め、工作機械(研削盤)の製造・販売を開始。
- 1959年 株式会社光機械製作所に改組し、現在地に拡張移転。
- 1961年 中小企業庁より「優良企業工場」に指定。
- 1967年 切削工具の量産を開始。
- 1971年 中小企業庁より「中小企業合理化モデル工場」の指定を受ける。
- 1973年 中小企業庁より「中小企業合理化モデル工場」の再指定を受ける。
- 1974年 第三工場を竣工し、刃具の生産を開始。
- 1980年 NC工作機械の製造開始。
- 2002年 レトロフィット事業を開始。
- 2004年 名古屋商工会議所より「モノづくりブランドNAGOYA」を受賞。
- 2007年 経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定。
- 2013年 「HIKARI R&D CENTER」を茨城県つくば市に創設。
- 2014年 日本生産性本部より「エンパワーメント大賞 奨励賞」を受賞。
経済産業大臣より「ダイバーシティ100選」を受賞。
APEC女性活躍推進企業50選に選定。(日本から5社)
- 2015年 中国広東省の「深圳深監精機有限公司」と業務提携を開始。
- 2016年 経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業者300社」を受賞。
- 2020年 豊田バンモップス株式会社と業務提携を開始。
三重県の「チェンジ・デザイン・アワード2020準グランプリ」に選定。
- 2024年 三重県の「三重のサステナブル経営アワード」を受賞。
- 2021年~2026年 6年連続「健康経営優良法人 プラット500」に認定。

◎経営理念について

当社は、「モノづくりをもっと楽しくスマートに。HIKARIの『なるほど』を世界に!」をミッションに掲げ、モノづくりの本質的な価値を追求し続けています。根底にあるのは、基本理念である、「Be professional: プロ意識に徹する」への強いこだわりです。

近年、日本の技術力の低下が指摘されるなか、「HIKARIの技術がなければ実現できない領域」の創出を目指し、独自の価値を磨いています。

また、「人を大切にする文化」の醸成にも力を注いできました。男性比率の高い工作機械業界にあって、多様性の価値をいち早く見据え、人材方針である3Gs(Gender-free, Generation-free, Global)のもと、一人ひとりがプロフェッショナルとして輝ける環境づくりを推進しています。

◎今後注力していく分野について

当社は、研削盤を中心とした工作機械、レーザー加工機、切削工具の開発・製造を通じて、幅広い製造業に向け加工ソリューションを提供してきました。

今後、当社が特に注力していく分野は、超短パルスレーザーを核とした次世代加工技術です。超短パルスレーザーは、熱影響を極限まで抑えた高精度加工を可能にする一方で、対象材料や用途ごとの最適な加工プロセスの確立が未だ発展途上にある領域です。これまで培ってきた固有技術を融合させることで、特に半導体や次世代ディスプレイ、エネルギー分野など、超精密かつ高度な加工が求められる領域において、新たな加工プロセスを創出していきたいと考えています。

◎今後の抱負について

これからの時代に当社が目指すのは、従業員がよりクリエイティブに活躍できる職場づくりです。AIや自動化が進展する社会だからこそ、「ひと」にしか生み出せない発想や感性を最大限に引き出し、一人ひとりがプロフェッショナルとして価値を創出できる環境をつくりあげていきたいと思っています。また、豊かな自然、歴史、文化、そして誠実なモノづくりの精神が息づく三重に根ざす企業として、技術提供にとどまらず、日本文化に宿る繊細さや美意識、調和の精神を発信していきたいと考えています。



会社外観



ダイヤモンド工具研削盤